

通信小海

「福音とは何か」

牧師 荒畑 実
あらかみ まこと

赤ちゃんの誕生は、誰にとっても嬉しいものです。先月、私たちの教会の一員であるご家庭に赤ちゃんが誕生したことを心から神様に感謝し、皆で喜びを分かち合いました。

クリスマスは救い主キリストの誕生をお祝いする日です。今から二千年前、一人の赤ちゃんの誕生によって、この喜びの日が訪れました。世界で最初のクリスマスが一番先にお祝いしたのは羊飼いです。天の御使いは羊飼いたちに次のように宣言しました。
 「きょうダビデの町で、あなたがたのために、救い主がお生まれになります」

「今月のみ言葉」

「きょうダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。この方こそ主キリストです。」
 ルカ 2章1-10節

た。この方こそ主キリストです。」
 羊飼いたちは、天の御使いの知らせを受けて、ダビデの町（ベツレヘム）の宿屋を訪ね歩き、馬小屋で誕生した赤ちゃんを見つけて、ひざまずいて礼拝をささげました。

この世界を創造されたお方の誕生した場所が馬小屋であったとは、なんともふさわしくない所のように思われます。しかし、暗く汚い馬小屋が私たち人間の心を示していることを知る時、その理由を心から納得することができるとは、私たちが、怒りや妬み、虚栄心、傲慢な思い、助けを必要としている人に対する冷たさや、弱さを持つ人を蔑む心、人を赦せない思いや、あらゆる欲望に満ちている自分の心を省みる時、そこが暗く汚れている事実を認めない訳にいきません。心の汚れは、

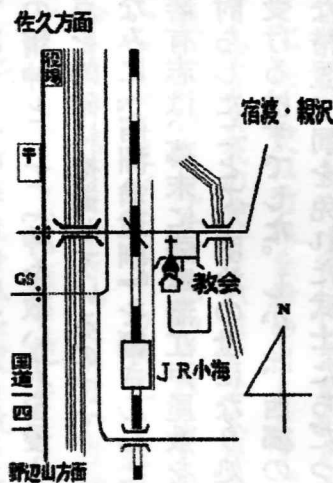
日本同盟基督教団 小海キリスト教会

南佐久郡小海町大字小海四三五・二七

〒三八四・二一〇二 電話 0267・88・7169

〒振替 00530・0・61683

見晴台の教会へどうぞ



集会あんない

日曜日 朝礼拝 午前十時から十一時半

夕礼拝 午後八時から九時

金曜日 聖書の学び 午後八時から

*初めての方も安心してお越しください。

*個人的な聖書勉強やご相談にも遠慮なくお越しください。

※当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

※当教会は、エホバの証人とは一切関係ありません。

人が神のご命令に背くことを選択した結果の罪（自己中心な思い）からくるのです。私たちの生活に争いが絶えないのもこの罪が原因です。

福音とは、喜ばしい良い知らせのことです。イエス様の誕生が、なぜ全人類の喜びなのか。それは、このお方こそが私たちを罪の力から解放し、死後の裁きから救い出して下さるからです。この罪と、罪の罰として定められた死と裁きから私たち人間を救うためにキリストは地上に来られました。私たちがこの救いをいただくために必要なことは、十字架について死んで葬られ3日目によみがえられたお方、あの日、馬小屋でお生まれになった方を神の御子であると信じることです。それだけで誰でも救っていただけるのです。これが福音です。

羊飼いたちは、この良き知らせを素直に受け取り、救い主を礼拝しに出かけました。あなたも是非、教会へお越しください。共に救い主を礼拝する恵みに与ることができますように。



聖書を読んだサムライたち

もうひとつの幕末維新史

守部 喜雅 【著】

第一章・洋上に浮かんでいた聖書

⑦

西郷隆盛が遺した言葉を集めた『南洲翁遺訓』には、次のような言葉もあ
ります。

「人を相手にせず、天を相手にせよ。天を相手にして、己を尽くして人をとがめず、わが誠の足らざるを尋ぬべし」「道は天地自然のものにして、人はこれを行うものなれば、天を敬するを目的とす。天は人も我も同一に愛し給うゆえ、我を愛する心を以て人を愛する也」

ここに出てくる「天」という言葉については、様々な議論があるように

す。西郷がキリスト教徒の思想家、中村正直(*)の『西国立志編』を読んで「敬天愛人」という言葉を知ったことや、福沢吉の『文明論之概略』に大きく影響を受けたことから考えると、この天は、聖書に出てくる神を表すものと考えるのが自然ではないかと言われています。

福沢自身、これはのちに触れることですが、聖書に少なからず影響を受けた教育家であり、その著作の中で、アメリカ建国の精神として「神を敬い人を愛する」点を的確に把握しているのです。

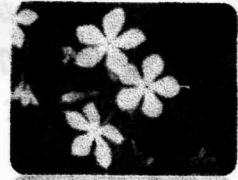
ちなみに『南洲翁遺訓』を編さんした庄内藩有志は、幕末に薩摩藩江戸屋敷を焼き討ちしたことで、明治の世になり処罰を受けるはずでした。しかし、西郷の寛大な措置で罰を免れた武士たちだったので、敵を許した西郷の生きざまに感動した人々がこの遺訓をまとめたのです。

《続く》

(*)一八六六年、英国ロンドンに留学。現地でも道徳が実現されているのを見て、その根底にあるキリスト教への関心を深めた。一八七四年洗礼を受け、晩年まで女子教育や障がい者教育に尽力。

ニチニチソウ

日日草・日々想



「真実の愛」

近頃、続編が公開された「アナと雪の女王」。2014年に大ヒットし、今や古典の名作に並ぶ不動の地位を獲得したと言えるデイズニー作品です。小さな女の子が雪の女王であるエルサになりきって「ありのままの自分」と歌っている姿は可愛らしく微笑ましいものです。我が家でも娘たちがよく大熱唱していました。

主人公以外の重要なキャラクターに、トロールとオラフという名脇役が登場します。オラフは愛らしい雪だるまで、要所要所で心に残る名言を語るのですが、コミカルなキャラクターの真理をつく深い言葉は、トロールのセ

リフと同じく、作品の鍵を握ります。

幼い頃にあつた出来事によつて、エルサは自分を責め心を閉ざしていくのですが、その時トロールが語つた「恐れが敵となるだらう」という言葉は、私たち人間にとつて普遍的なものであると言えます。聖書においても、人間がいかにか「恐れ」という感情に支配されやすいかが多くの箇所て語られています。

私たちは意識的にも無意識にも、様々なことに恐れを抱きながら生きているのだと思います。日常的に言えば「心配・不安」に思ふ事柄は、自分の命や子どもの将来、災害や事故との遭遇などといった大きなことから、明日のテストが上手くいくか、自分が人からどのように思われているかといったようなことにまで広く及び、いくら言つても尽きないものです。この恐れを、どのように克服することができるのでしょうか。

自分では上手くコントロールするののできない強い魔法の力を恐れ閉ざし、凍りついていたエルサの心を溶かしたのは、「真実の愛」でした。オラフ

が「愛つてというのは、自分より人のことを大切に思うことだよ」と言つた通りの相手を思う愛。アナが自分が助かることよりもエルサを助けたいという愛を行動に移した時、そこに恐れはありませんでした。

聖書は語ります。「愛には恐れがありません。全き愛は恐れを締め出します。」全き愛は真実の愛、それはイエス様の十字架において完全に現わされたものです。イエス様がすべての栄光を捨て、命を投げ出して下さつたのは、自分ではどうしようもない罪を抱えてもがき苦しんでいる、こんな私を愛し救うためだったのだ。このことを受け入れる時、罪からくる自分への責めや失敗に対する恐れから解き放たれ、本当の意味で「ありのまま」の自分であることができるとは、何度失敗しても、何度でも十字架の前に立ち返ればいい。イエス様の「真実の愛」からくる平安は揺るがされることはありません。

この平安と喜びを、改めて受け取るクリスマスにしたいです。



Merry Christmas

メリークリスマス

教会で、本当のクリスマスをお祝いしませんか？

演奏、賛美、聖書のみことば…

静かな夕べを共に過ごしましょう。

教会が初めての方、お子さま、地域の皆さん、

どなたもお気兼ねなくお越しください。

神様の祝福があります。

日時：12月24日(火)

午後6時半から

◎茶菓のご用意がございます◎

場所：小海キリスト教会 (小海4355-27 見晴台)

遊びにおいで♪

ハレルヤキッス！！

★クリスマス・スペシャル★

12月は14日(土)

1:00~3:00

お友達の合奏、さんび、クラフト、おやつタイム

参加無料

お家の方も、ぜひどうぞ！

生活困窮者支援

山谷(やま)農場

ありがとうございます

今年も支援して下さいました皆様から感謝申し上げます。お一人お一人の上に、神様の豊かな祝福がありますように。重ねて、今月も海苔や書き損じハガキ・未使用切手などの提供をどうぞよろしくお願い致します。

〈連絡先〉藤田 寛

☎ 090-1436-6334

FAX 042-786-2008

メール nyoro@beige.ocn.ne.jp

〈物資送付先〉小海キリスト教会、または、南牧村社協へ。〒384-1302 南牧村大字海ノ口966-15 南牧村社会福祉協議会 気付 山谷農場

*着払い送付はご遠慮ください。

*土曜日の配達指定をお願いします。

山谷農場事務局(藤田)小海町芦谷ヒルサイドコーポ一〇二号室 毎週土曜

カンパ:〒振替〇〇二四〇一四一五三七九